

## 平成26年度第3回宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会議事録(要点筆記)

平成26年12月22日(月)19:00～21:00

宗像市役所 第2委員会室

## ■出席者

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
◎池添 昌幸	出	○前田 誠	出	牧 敦司	出
南 博	出	横山 麻季子	出		

◎印は会長、○印は副会長

## 《質疑・意見》

(委員)

資料2-1について何か意見はあるか。

(委員)

資料は良いが、このあと市民に公表するのであれば、平成26年以降はカッコ書き、米印のような示し方をすべきではないか。新たな資料提示は必要ないが、今後の扱いとして、平成25年以前と平成26年以降で表記を分け、以前の数字とは意味合いが異なるということがわかるように示した方が良い。

(委員)

表に空白の部分があるが、なぜ空白なのかを説明する必要がある。新しい施設は建設年を示すなど、資料を公開する場合は確認が必要である。

(委員)

後半の審議の内容と絡むが、この資料は個々の計画を束ねた現状を示すものということが前提である。この比較を論じるのではなく、方針を今後決めて取り組むということで良いか。

(委員)

更新費用のこれまでの実績、見通しを整理したものであり、今後、分野別で審議するとき具体的な議論の参考になる。

(委員)

資料2-2について何か意見はあるか。

(委員)

大変わかりやすい資料、大変優等生な都市であるということを再度確認する資料となっている。福祉系施設に関して、「筑紫野市の10分の1しかない」と見えなくもない。4ページの施設の表で比較が示されているが、比較するのもどうなのか。福祉系の施設は子育て、高齢者向けなどいろいろある。箇所数で比較するのではなく、実態にあわせて宗像市としては機能が保たれていることを示す必要があるのでは。福祉のところは、分析内容を変えた方がよい。

(委員)

福祉系施設は、児童館や老人いこいの家など、集会系の施設が福祉系施設となっている。宗像市はすでに集約してコミュニティセンターに変わっている。福祉系の施設がないのではなく、行政財産の面積が大きいということの裏返しという分析もできる。そのような分析の文章を入れた方が誤解がない。

(委員)

各自治公民館に老人いこいの家は整備されている。どのようにカウントされるのか。

(事務局)

公共施設状況調査自体には、自治公民館は含まれていない。

(委員)

資料2-3について何か意見はあるか。

(委員)

長期の借入金は市の負担になっていないのか。今後もこのバランスなのか、それとも見通しが立たないのか。

(事務局)

下水道事業は多額の費用を要する。投資経費は下水道利用者が使用料で負担する仕組みになっている。企業債の償還期間は30年であり、その負担は償却期間中に使用料で負担するという方法が従前よりとられている。国の財源措置の動向によって左右される部分が大きく、国が下水道事業の投資にこれまで通り投資を続けるのであれば不安はない。

(委員)

市営住宅のことや、快適性の評価は次回以降ということだが、この扱いでよいのか。

(全員:同意)

(委員)

資料 3-1 について何か意見はあるか

(委員)

前回の指摘事項については修正され、わかりやすい形になっている。

(委員)

指摘に対しては、対応されている。

(委員)

よくまとまって見やすくなっている。庁内推進体制の図の中に「その他」という記載があるが、前の記載は「市民への情報発信」だった。「市民への情報発信など」という文言を補足した方がわかりやすくなるのではないか。また、市民との情報発信と情報提供の表現の差がわからないので、そのあたりも踏まえた上で再整理してほしい。

(事務局)

「その他」の部分は記述を加える。情報の発信、提供、共有等の言葉の使い方や発信のタイミング等については検討する。図中に記載している情報発信は、経営企画部署からとなる。公共施設、インフラの主管課の役割は情報の整理となる。委員会は内部調整が主となる。このあたりは記述内容を整理する。

(委員)

資料の 3-2 の 2 枚目、PDCA の図がわかりやすくなった。前回の資料は時間軸があったのが良かった。今回の資料も年度が入るとわかりやすくなる。

(事務局)

前期期間の時間軸を図に入れる。

(委員)

第 1 期の最初の 5 年間は推進体制が整っていない状態になる。この部分は書きにくい。第 1 期の後期からは体制が整い、あるべき姿としてまわっていく。この部分の表現に時間軸を入れ、計画推進、見直しを踏まえた PDCA として表現するというので良いか。

(事務局)

本文中に記載するのは難しいので、図の変更としたい。図の見せ方として、時間軸を入れ、

DとCの上に注釈を入れて年度の掲載をする。

(委員)

PDCAの中で市民の意見をどう反映していくのか。アセットマネジメント推進計画は公表し、委員会の中で反映という形だけなのか。市民の意向を定量的に把握することを考えていないのか。宗像市は市民協働が強みであり、市民が参画・協働しやすい仕組みづくりが必要である。公表等の文言だけは気になる。市民への情報提供は次回議論することになっているが、この図についても立ち返って意見を述べる。

(委員)

市民と協働して検証する、市民とともに実行するなど考えられる。PDCAサイクルの中で市民の位置づけを示すべきではないか。

(委員)

次回以降にこのことは議論したい。行政が痛みを伴う部分も説明していく必要があり、丁寧に段階を踏むことが大切である。

(委員)

市民モニターや市民の意識調査など、どのように市民のニーズ把握、意見の集約をされているのか。別の審議会等と連携してアンケートやWSなどを実施することは可能なのか。次回の協議の材料として示してほしい。公表の記述が具体的に分かるとすばらしい進行管理の図となる。

(委員)

次回の委員会での反映をお願いしたい。

(事務局)

1回目の審議会でもご指摘いただいた。骨子の表題も含めて検討する。市民アンケートは毎年実施しているが、その設問の中で満足度、重要度を聞いている。設問項目は総合計画が主体になっており、「アセットマネジメントの実践」も項目に含まれている。毎年どういう取り組みをしているかを示した上で、重要度、満足度の把握は毎年できる。別の審議会等との連携については、公共施設単体の更新の際は第三者機関を設けて審議し、個別の更新計画をたてる。指摘いただいた資料に関しては次回示す。

(委員)

アンケート調査は経営企画部署が行っているのか。

(事務局)

行政評価の手法としてアンケートを実施している。

(委員)

ご提示いただく資料をふまえ、次回具体的に考えるということで良いか。今回の指摘事項を含め修正頂くといいか。

(全員:同意)

(委員)

適正化方針について、まず構成が変更されている。構成自体は問題ないと思うがいかがか。

(委員)

わかりやすい資料の作り方になっている。インフラに関しては、この記載で良いのではないか。根拠は解釈による部分がある。全体をとらえた場合、市街地がこれ以上広がらないのであれば、駅周辺には住宅が集中するなど、インフラの形は変わっても規模は現状維持という解釈もできる。人口が減少しても、住む人にあわせて公共インフラを圧縮せず、現状維持ということで良い。

(委員)

個別の内容はいかがか。それぞれの委員が自由に発言する形で進める。

(委員)

質問が2点ある。1点目は、分類別方針は4回目に議論ということだが、用途分類別の方針がどのような形で入ってくるのか。2点目は、公共施設の基本方針3に該当することであるが、「検討が済み次第、計画に反映する」という説明がよくわからない。計画を見直す5年後に反映するのか、それとも今年度中に反映するのか。

(事務局)

分類別方針については、維持更新計画と一体的なもので、維持更新計画を策定する前提条件として整理する。

(委員)

基本方針3の記載内容について、検討結果が書かれているという理解で良いのか。

(事務局)

宗像市は合併後に公共施設の集約化を図っており、スポーツ施設、学校、市営住宅は、集

約化等の現実性が高い施設の分類として提示している。スポーツ施設は、計画を審議会で協議しており、市の方針決定済みの形で維持更新計画に反映する。学校については、一定のプロセスを経る必要があるため、今後審議会に提案するが、審議には1年か2年かかるため、すぐに方針を示すことは難しい。市営住宅は、具体的な可能性を探るなど、調整の上、計画に反映する。

(委員)

維持更新計画に反映させていくのか。基本方針の文言を変えるのか。

(事務局)

適正化方針を変えるのではなく、方針に基づき、維持管理計画に反映する。

(委員)

教育委員会、住宅の主管課で検討するのであれば、推進すると言い切ってかまわないのか。

(事務局)

検討レベルではなく、集約化等を推進するという意思を示している。具体的にどうやるかは今後の検討となる。

(委員)

「複合化を推進する」等の表現に問題はないが、主語として小中学校をつけると用途限定になる。施設用途に限定して集約化、複合化、民活化を行うのか。ここに該当するものという意図で書かれているのか、それともそれを意図してはいないのか。分類別方針は4回以降に議論ということだが、矛盾しているのではないか。

(事務局)

公共施設については、公共施設白書で示した分類があるが、どのような分類で述べるかは次回以降に整理する。基本的な考え方をまとめた上で維持更新計画を示す。

(委員)

基本方針3の記述について、前回も記載内容が狭いのではないかという指摘があった。他の審議会があるということだが、どちらが先、どちらが上なのか。この審議会で決められるところはどこまでなのか。学校の適正化方針では、適正化と言っているが複合化とは言っていないが、それを明言してもいいのか。総量圧縮が公共施設の基本方針1になっているが、破線の枠囲みの記載がない。記述の薄さが気になる。他の市町村と比べて圧縮していることの説明を加えてもいいのではないか。

(委員)

全体の話で2点ある。1点目は、「延べ床面積15%の削減」の記述がなくなったが、15%は他都市と比較してどのようなものだったのか検証した方が良い。国の方針に対して宗像市がどうなのかを明確にして、市民にもわかるようにした方が良い。2点目は、基本方針の文章について、どちらがメインになっているのかがわからない。基本方針の文章が全体的にどちらを向いているのかわからない文章になっている。どの文章を見ても表現がふらふらしている。誤解がないように整理した方がよい。「公共施設(公共インフラ)の方針」は「公共施設(公共インフラ)に関する基本方針」にした方が良いのではないか。

(委員)

スポーツ施設はマスタープランで承認されたということだが、記憶にない。いつ承認されたのか。既定の事実が突きつけられているが、このままでいいのか。個別の問題になるが、市民にとって体育館を3館を1館にした方がいいのか、次回議論したい。

(委員)

方針として集約化、複合化、民活化を否定するのではないが、個別の施設について結論を出せない。審議会の位置づけを整理して審議すべき主題はどこなのかを明確にしてほしい。「体育館など、市営住宅など」と「〇〇場合」が重なり、2重の限定になっているのが問題なのではないか。基本方針3は次回との兼ね合いでもう一度判断する。

(委員)

前回と同じことが繰り返されている。それが基本方針3の議論に行き着く。委員会で判断していいもの、判断の前提となるものをご教示頂きたい。宗像市は圧縮をしているところは既に行っている、他都市のように30%も圧縮する必要はないということをPRすべきではないか。

(委員)

圧縮しない理由を明確に示した方が良い。宗像市の特徴が出た方が良い。

(委員)

保有総量の圧縮は前提であるが、数値目標としては掲げないということになっている。現在の保有状況を説明したうえで、総量圧縮にいたった根拠の説明を加筆するということが良いか。基本方針に具体的な目標数値を出さないのは異議なしということでもいいか。本文の大筋については異論なしということが良いか。

(全員:同意)

(委員)

公共インフラについては、居住地をどう再編していくかということにもつながる。居住誘導区域が設定されて担保できる形で国は動いているが、コンパクトにした場合、公共インフラを含めた適正化、機能維持という話になる。

(委員)

公共インフラの基本方針②のただし以降の文言について、幅広い視点の書き方にした方がよい。古賀市や春日市は、そもそも町がコンパクトであるため保有する公共施設の数が少ないが、福津市や宗像市は市域が広い。他都市と比較したとしても集約が進んでいるという説明が必要である。

(委員)

スポーツ施設の再編は、スポーツ推進計画で議論したのか、総合計画で議論したのか。

(事務局)

総合計画では明記していない。施設整備について検討するということにとどまっている。スポーツ推進計画には具体的な記述をしている。

(委員)

公共施設の箱の維持というだけの視点に立たず、施設の利用水準、利用動向、満足度など、維持については市民の意見が反映されることが記載されれば全体の文章とつながりができるのではないかと。

(委員)

基本方針 3 については、審議会の位置づけ、個別の委員会の議論の状況を明確にした上で、第 4 回の議論し、それを踏まえて判断する。今回は基本方針 3 を除いて承認するという形で進めたい。

(全員:同意)

(事務局)

第 4 回審議会開催日は、1 月 30 日 (金) 19 時から。